令和３年度　飯田コアカレッジ　自己評価報告書

令和4年5月1日

１．実施方法

学校評価委員会を設置して、教職員全員による自己点検・評価を実施し、その結果についてこの報告書にまとめました。

※評価方法　４（適切）から１（不適切）の４段階で評価。
（適切・・４　　ほぼ適切・・３　　やや不適切・・２　　不適切・・１）

２．自己評価結果

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価 1～4
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
② 学校における職業教育の特色は何か	4
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4
⑤ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

現状の課題と解決策

・IT医療事務学科については、昨年度から学科の在り方について検討してきたが、全国的にも医療機関の求人が減少しており、進路保証が困難な状況である。また、昨今の状況からITにおけるニーズが高まっており企業が求める人材のハードルも上がっている状況であり、専門分野の教員の確保が必要と考える。
学力の向上・社会人基礎力の醸成を図ることを目標としているが、学生の意識と意欲が低く、「なぜ学ぶのか」「どんな人材を目指すのか」について教職員も含めた意識改革も必要と考える。

・令和5年度に向けてIT医療事務学科とITビジネス学科を発展的に統合したうえで、ITスキルを身につけ、地域の産業経済界及び自治体等で活躍できる人材を養成する新学科を検討中である。また、企業ニーズに応えるカリキュラムの検討は校内だけでは限界があるので、外部の方の意見やアドバイスを得られる機会を設けることにより、職員の質の向上を図る。学生自身の意識の向上を図るために、授業目標等を継続的に周知し、目標達成に向けた学習を指導する。

(2) 学校運営

評価項目	評価 1～4
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
④ 人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

現状の課題と解決策

・校内のWi-Fi環境の整備が喫緊の課題となっている。また、ITを活用した更なる業務の効率化が必要であるが、従来の業務方法に甘んじ、改善しようとする意識が低いことと、システム化に対応できる職員が限らているため、職員のITスキル向上のための研鑽が必要と考える。一部業務のアウトソーシングの提案もあるが、専門分野の非常勤講師の確保を優先するべきである。
・Wi-Fi環境の整備は年度内に完了予定である。また、効率化できる業務の洗い出しとシステム要件を見直し、改善に向けて積極的に推進するうえで、職員全体のITスキルの底上げを図りたい。

(3) 教育活動

評価項目	評価 1～4
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の、工夫・開発などが実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含み）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組が行われているか	3
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

現状の課題と解決策

・学生の能力及び意欲等については多様化が進行している状況である。習熟度別授業を展開するなど、学生の資格取得や技能修得のために様々な工夫をしているが、更なる充実のためには2年後の学生のあるべき姿を想定した授業展開や学生数増加により多様な学生の指導が必要となったため、優秀な教員と教室等の確保が課題である。

・職業観向上のためのプログラムを実施し、学生の就労意識の向上を図っているが、学習内容と仕事が結びつかず、就労への意識が低い。また、常勤職員の担当科目が多いことが要因となり、授業準備が充分ではない場合もある。資格取得についても明確な指導がされていないなど、職員の専門職としての意識が低いことが学生のモチベーションに少なからずとも影響を与えていることが課題である。

・優秀な教員を確保するため、公的な機関のほか、様々な機会を活用して募集活動を行っている。授業評価については授業改善に資する適正な内容・方法で実施するべく検討中であり、シラバス作成の際には、担当教員に任せるだけでなく、2年後の目標をさらに明確にする。また、学生のモチベーション向上を図るために、インターンシップや職場体験の早期実施や教員の研修機会を充実させ、実務を想定した授業展開の工夫と指導力の向上を図る。

(4) 学修成果

評価項目	評価 1～4
① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	4
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

現状の課題と解決策

・地元の産業経済界や自治体等から信頼と期待を寄せていただき、昨年度まで7年連続の就職内定率100%を達成しているが、欠席の多い一部の学生については就職支援に困難が生じている。また、年々就職活動における学生の主体性が弱く、内定イコールゴールと捉えている学生が多いと感じる。就職支援についても、学生が社会で活躍できるマインドの育成ができる教員が少なく、学生の心構えより先走った指導になっている。

・高校卒業後、就職するまでには至らない学生の割合が増加していることもあり、資格取得、技能の修得が困難な学生の割合が増えている。また、様々な課題を持つ学生への合理的配慮も物理的な課題があり、多様な学生に対して、より丁寧な個別指導体制を構築するる上で、対応できる職員を育成できるよう努める。

・保護者や地域の関係団体との連携を密いしながら、該当する学生に対して粘り強い指導と支援を継続する。また、習熟度別のクラス編成による指導に加え、体系的なカリキュラムの構築と細分化したクラス編成を検討して、次年度から実践したい。

(5) 学生支援

評価項目	評価 1～4
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
② 学生相談に関する体制は整備されているか	4
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	4
⑦ 保護者と適切に連携しているか	4
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	4
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
⑩ 高校・高等専修学校等の連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

現状の課題と解決策

・ 医務室は整備しているが、保健担当の職員が常駐していないため、心身の不調を訴える学生に対して有効な手立てがない状況である。また、コロナ対策は自治体の定める指針に沿って充分に実施しているが、今後の新たな流行に対しては不安を感じている。

・ 教員の経験不足により学生の支援に偏りが生じることが散見され、学生にとって不利益となる事案も発生してしまった。学生個々の考え方と気質が多様化しおり、特にメンタル面に課題がある学生については、専門的な知識を修得する機会が必要となっている。

・ 日ごろから健康管理を徹底する一方で、体調不良の学生に対しては、早目の医療機関受診と休養を促すことをルール化する。また、専門的な支援が必要な場合は早期に専門機関を紹介できるよう連携を強化する。また、職員の研修を実施し、様々な障害への理解や対応について学ぶとともに、学生の変化を見落とさないよう情報共有を徹底する。

(6) 教育環境

評価項目	評価 1～4
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
③ 防災に対する体制は整備されているか	4

現状の課題と解決策

・ 学校自体が小規模であり、防災訓練の効果が期待できないため、本年度は未実施であるが、冬季に向けて防災講話等を実施したい。外壁の塗装や駐車場の舗装等学習環境を整備することができた。今後も予算の範囲内でトイレの洋式化の予定である。

・ 学生に5Sの徹底を指導しており、引き続き整った教育環境の維持に努める。また、学生の増加により教室確保が課題となっているが、今後の少子化を鑑み、時間割等を工夫して対応して行きたい。

・ 火災報知機等防災設備の点検は法令に従って毎年実施している。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価 1～4
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
③ 学納金は妥当なものとなっているか	4

現状の課題と解決策

・ 高等学校の先生方から厚い信頼と期待を寄せていただき、3年連続で定員を上回る志願者を得ることができているが、現状に甘んじていると、コロナの収束と少子化も相まって厳しい現状になると予想せざるを得ないため、新学科の検討はもとより、地域社会のニーズと学生の志向等も取り入れた魅力あるカリキュラムの提示が重要である。先進的な学校の事例を研究するなどさらなる改善に努めたい。

・ 学生募集は当校の財務基盤であり、今後当地域における少子化の進行や競合校進出（攻勢）による学生数の維持が難しいため、様々な課題を抱える学生を受け入れていくことも地域唯一の専門学校としての役割を認識した上で、学校の継続的な発展を図って行きたい。

・ 当地域ならではの魅力ある学科やカリキュラムの検討が急務であるため、外部の意見や助言を参考にできる機会を増やしたい。また、マスコミ等を通じて学校の取組を引き続き発信して行きたい。

(8) 財務

評価項目	評価 1～4
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③ 財務については会計監査が適正に行われているか	4
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

現状の課題と解決策

・的確かつ効率的な予算の執行により、収支のバランスも良く健全な財務が維持されている。しかし、少子化の進行する地方の小規模な専門学校であるため、学生数の減少等が顕著になった場合盤石な財務を維持することが困難になることを、全職員が認識し、常に危機感をもって、教育活動、学校運営に取り組むことが求められている。

・教育外活動（収益部門）の収支について、常時必要な内容を把握できるシステムを構築し、法人全体の決算までの業務をスムーズかつ正確に見込めるよう財務管理を強化する。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価 1～4
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に関し、その保護のため対策が取られているか	4
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
④ 自己評価結果を公開しているか	4

現状の課題と解決策

・現在、校内のコンプライアンスは厳守されている。現状を維持することはもちろんであるが、特に個人情報の管理について職員研修等を通じて、法令順守の意識を更に高めることが重要である。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価 1～4
① 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献をおこなっているか	4
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

現状の課題と解決策

・学生たちの社会貢献、ボランティア等、社会参加等を推進し、成果が上がっている。今後も当校が地域社会から信頼され、必要とされる学校となれるよう引き続き推奨していきたい。

・地域貢献に積極的に取り組む学生も増えてきており、成功体験の少ない学生が自己肯定感を実感できる取り組みを提案したいが、全く意義を見出せない学生もおり、授業で取り組む際には導入部分に時間をかけることが必要である。

・学校及び学生の社会貢献活動について報道される機会が増え、地域住民の認知度も高まってきている。探求学習の一環でボランティアとして参加した地域のイベントでは高い評価を受けたり、お練り祭りのデザインが公式ポスターとして採用されたことは、学生たちのモチベーションの向上にも繋がった。